

globalforce.link 通信 [2016.5.27.]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0034 号)

[illegible]

2016.5.27.

.....

- ・globalforce(高度外国人)に関連する人財活用のエッセンス、採用、教育
- ・本音トーク、法令関連にいたるまで、さまざまな情報を発信します。

.....

\$\$\$name\$\$\$さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

庭にラベンダーの花が植わっています。ここのところ、すくすくと成長して

段々巨大化しています。(^^;)

ラベンダーは葉に香りがあるので、指でこすると、あの心地よい香りが指に付き、朝は元気を、夜は安らぎをくれます。

さらに、その周りに最近ほとんど見なくなった蜂や、チョウチョウが飛んでいる様子を見ると、幸せな気持ちになります。

小さくても自然は、私たちに幸せにしてくれるものですね。(^^)

■トピックス■

1. 今週のフォーカス「異文化コミュニケーションと心」
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

114

1 | 今週のフォーカス「異文化コミュニケーションと心」

114

私たちは、ペットの様子を見て彼らに「心」を感じます。それは、彼らに

心があると私たちが『感じる』にすぎないのかもしれませんが。

能面は、一つの面で笑っているようにも、怒っているようにも見えます。

それは見る角度からの錯覚なのかもしれませんし、私たちが能楽師の所作から
 そう『感じる』にすぎないのかもしれない。

心とは、他者との関係性の中で「感じられる」もの。

心は、見る者の想像の中にある。

【アンドロイドは人間になれるか】石黒浩著

人は子供の頃からさまざまな場面で、多くの人と接しながら、振る舞い方を学び、社会性を身に付けていきます。日本で育った子供は、日本人の所作を覚えていく。もちろん、アメリカで育てばアメリカ人の所作を、中国で育てば中国人の所作を覚える。

それと同時に、私たちはその振る舞いから、相手の心を『感じる』経験を積みます。だから、心が通じ合えたとお互いに『感じる』。

私たち日本人は、外国の文化の所作を知りません。つまり、外国の人の心を感じるノウハウを持ち合わせていない。

同じ日本人でも、相手のちょっとした「しぐさ」を誤解することがあります。

ましてや相手が外国人の場合は、私たちに『感じる』経験が全くないため、『解析不可能』となり、困惑したり、誤解したりしてしてしまう。結果、できれば距離を置きたいと思うわけです。

一緒に仕事をする相手が「外国人」だなんて、想像するだけで日本人は「フリーズ」してしまいます。これでは、感じるための経験など積めるはずがありません。

『心は、見る者の想像の中にある。』とするのなら、相手の心を思い込みで悪く想像しないことが重要です。そして、相手の心を感じるための経験を少しずつ積み上げていくことです。すると、正しく感じられるようになっていくのだと思います。文化が違うだけで、同じ人間なのですから、そう大きな問題にはなりません。

本当のグローバルな社会へ、少しずつ歩んで行きましょう！

┌

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

└

次回は勉強会をご案内します。

2016 年7月14日(木) 14:00-16:00

場所: 星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

<http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

です。勉強会の内容は、現在熟慮中ですので、しばらくお待ちください。

お持ちの手帳と、カレンダーに記載頂ければ幸いです。

┌

| 3 | 摩訶珍(まかちん)編集後記

└

多くの企業を訪問すると、採用を「数」で測っているように感じます。

